

●基本情報

事業名	男女共同参画推進事業			評価番号	5-2-6-1・2	
担当課	企画課	係	企画調整係	会計	【01】一般会計	
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり		予算科目	款	【0102】総務費
	基本施策	【2】誰もが尊重される環境の整備			項	【010201】総務管理費
	施策	【6】男女共同参画社会の充実			目	【01020106】企画費
	主な取組	①男女共同参画基本計画に基づく施策の推進			事業	男女共同参画推進事業
②男女共同参画意識の啓発						

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	名称	男女共同参画社会基本法		
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 25 年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明	
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり事業終了年度：令和 () 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し <input type="radio"/> 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()				
実施形態	<input checked="" type="radio"/> 町単独 <input type="radio"/> 国・県補助事業 <input type="radio"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="radio"/> その他()				
事業概要	男女共同参画推進協議会の協力のもと、住民に対し情報提供や講演会参加等男女共同参画に関する啓発を行います。 住民意識調査を基に計画を策定・推進することで、男女共同参画社会の実現に向けた取組を実施します。				

●実施 ~DO~

事業実績	<p>①の取組については、男女共同参画推進プラン(2020~2024)を策定し、町における男女共同参画社会を実現するため、環境の整備に努めました。 また、担当職員、ワーキングチーム、及び推進協議会委員では、県主催の研修に参加し、啓発を図りました。</p> <p>②の取組については、「広報とね」において、毎月掲載をし啓発に努めました。 また、地場産業祭では男女共同参画社会の認知度におけるアンケートの実施や啓発物の配布等を行いました。</p>				
事業費	区分	平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	
	財源内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
		一般財源	150,866 円	343,636 円	170,160 円
事業費計	150,866 円	343,636 円	170,160 円		

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 基本計画に基づき推進プランの策定し、広報やイベント、研修を通して参画意識の創生を図っているため、達成に貢献しているといえます。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 国が男女共同参画社会基本法を定めていることから、自治体が行う事業であると考えられるため妥当であるといえます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	<input type="radio"/> 余地がない <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 理由 推進の方法として、現行だけではなく他の方法も考えていく必要があるため、見直す余地があるかと思えます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 理由 ②と同義であると考えますので、廃止・休止はいたしません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない 理由 （空欄）
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 理由 啓発を図るために必要な経費で最低限の事業費で運用していますので、コスト削減の余地はありません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 理由 （空欄）

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続 (<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止(終了) <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 令和元年度における事業の取組については、大きなものとして、男女共同参画推進プランの策定がありましたが、令和2年度においても男女共同参画推進条例の制定を計画していますので、今後の方向性としては引き続き、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいくことから、現状維持とします。